

病虫害防除技術情報第8号

令和8年9月24日

三重県病虫害防除所

果樹カメムシ類による果実への被害が発生しています。

園地を見回り、飛来を確認したら防除を行ってください。

1 対象作物：カキ、かんきつ類

2 対象病虫害名：果樹カメムシ類

(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)

3 発生状況

(1) 令和8年8月7日に病虫害発生予察注意報第3号(果樹カメムシ類)を発表したところですが、引き続き発生が多い状況が続いています。

(2) 予察灯(松阪市)における8月第4半旬から9月第3半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは5,691頭(平成2,416頭)と過去10年で2番目に多く、ツヤアオカメムシでは2,446頭(平成356頭)と過去10年で最も多い状況です(図1、2)。

(3) 予察灯(御浜町)における8月下旬から9月上旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは4,047頭(平成1,211頭)、ツヤアオカメムシでは3,536頭(平成270頭)といずれも過去10年で最も多い状況です(図3)。

(4) 9月上旬に行った巡回調査では、カキほ場における果樹カメムシ類被害果率2.0%(平成0.1%)と高い状況でした。また、カンキツほ場における果樹カメムシ類叩き落とし虫数平均0.5頭(平成0.02頭)と多い状況でした。

4 防除の注意事項

(1) 飛来数は、ほ場による差が大きい傾向があります。過去に飛来が多かったほ場や山林に近いほ場では特に注意してください。

(2) 台風等による強風が発生した後に、急にほ場へ多数飛来することがあります。

(3) 夜間の照明等への飛来を参考にし、ほ場で飛来を確認したら防除を実施してください。

(4) 果樹カメムシ類は日没後に活発に飛翔するため、薬剤散布は午後から夕刻、

または早朝に行うと効果が高くなります。

- (5) 近隣ほ場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (6) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
- (7) 収穫期に防除を行う場合は、収穫前日数に注意してください。
- (8) 薬剤の登録内容は農薬情報検索システムで最新情報を調べることができます。

農薬情報検索システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

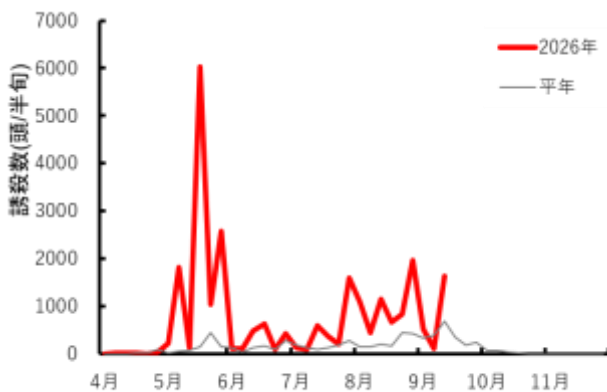


図1. 予察灯（松阪市）における
チャバネアオカメムシ誘殺数

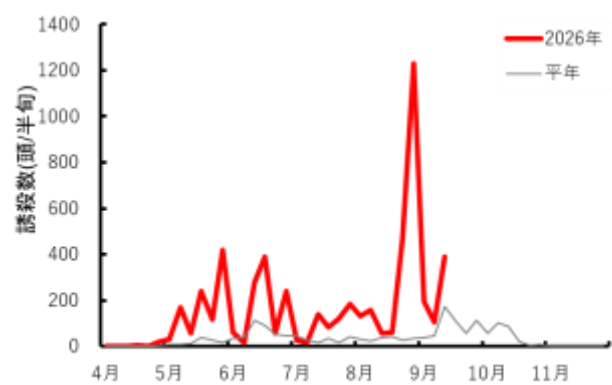


図2. 予察灯（松阪市）における
ツヤアオカメムシ誘殺数

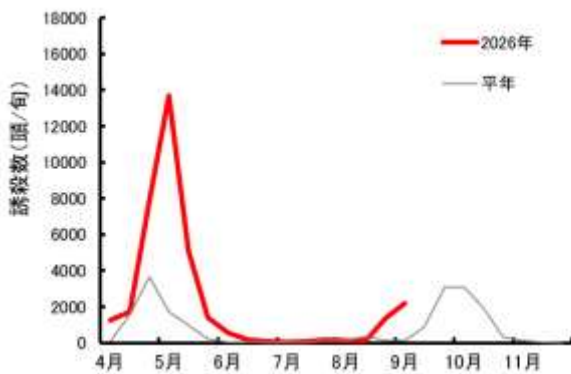


図3. 予察灯（御浜町）における
ツヤアオカメムシ誘殺数



図4. 果樹カメムシ類によるカキ被害果実

6 問い合わせ先 三重県病害虫防除所 電話:0598-42-6365

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

